

平成 29 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
IT ストラテジストには、顧客のニーズ、技術の動向を的確につかみ、自社のリソース、技術力の課題などと照らし合わせて、自社の戦略に対する最適な方針を設定し、それを具体的な施策に落とし込む能力が求められる。 本問では、大型機器製造業における IoT を活用したビジネスモデル構築を題材として、組織内の各部門に存在する課題を統合して解決を図る課題解決力を評価する。具体的には、業務プロセスの分析能力と新たなプロセスの設計能力、顧客の課題に対応した提案能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	部品の標準化や共通化の取組みが徹底されていること	
	(2)	営業部 顧客からの新機能や機能改善の要求を満たしているかを確認すること	
		研究部 製品にユニットが適用可能かどうかを見極めること	
	(3)	ボトルネック工程を予測するため	
	(4)	顧客に対して提示できる対応可能な納期	
設問 2	(1)	P 社の整備部門の業務を A 社の ES 部が受託する提案	
	(2)	P 社の製品へのユニットの組込みと、運転や整備の履歴情報の提供	

問 2

出題趣旨	
IT ストラテジストには、業種ごとの事業特性を踏まえて、業務システム課題の定義、業務プロセスの見直し、情報システムの改善に関する個別システム化計画の策定を行う能力が求められる。 本問では、飲料メーカーの合併に伴う物流業務の見直しを題材として、個別システム化計画の策定に関する能力を問う。具体的には、物流業務及びシステムの統合における課題と解決策の検討、物流センタの見直しにおける課題と業務の見直しの検討、ドライバの作業改善において活用すべき情報と検討すべき事項について問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	G 社の商品の物流センタへの入荷予定情報と顧客への出荷情報	
	(2)	情報 届け先コード	
		依頼 配送希望時間を時刻指定から時間帯指定に変更を依頼する。	
設問 2	(1)	出荷準備作業がトラック到着前に行える割合が増える。	
	(2)	エリアセンタの在庫量が増えない。	
	(3)	拘束時間が少なくなる。	
設問 3	(1)	積み込み作業の実績時間情報	
	(2)	時間帯ごとの作業者数によって対応可能なトラック数	

問3

出題趣旨	
IT ストラテジストには、情報技術を活用した、新たなビジネスモデルの構築やサービスの付加価値の向上を提案する能力が求められる。	
本問では、クレジットカード会社の保有データを活用した取組みを題材として、新しいサービス構築やサービス向上に向けた情報技術を応用する能力を評価する。具体的には、新たなマーケティングの取組み、損失削減への取組み、情報システム運用後の課題について問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	ポイントの残高が退会の抑止になっていないこと	
設問2	(1) 加盟店が特典の対象者を特定できないようにしたいから	
	(2) 商品単位の決済データが提供できないから	
設問3	(1) 債権回収事業者に債権回収見込みの客観的な証拠を提示する。	
	(2) 会員番号、購入店舗名、購入日	
設問4	(1) 適切な集計カテゴリの設定を支援する機能	
	(2) 会員の未決済の残高	

問4

出題趣旨	
IT ストラテジストには、経営戦略の実現に向けて、社会の状況と自社の保有技術を基に、将来性のある事業計画を立案する能力が求められる。	
本問では、特殊カメラメーカーにおける超小型人工衛星の事業化を題材として、従来の事業と比較し、金額、リスクなど、特徴の異なる事業を企画する場合の企画能力を評価する。具体的には、要素技術を調査して事業性を検討する能力、有効な事業方針を立てる能力、戦略的な事業展開を企画・立案する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) 人工衛星による画像データ利用の要求が急速に高まりつつあるから	
	(2) 超小型人工衛星用に開発が必要な要素技術に使えるから	
設問2	(1) プロジェクト内の最新の保有技術，研究成果を生かすため	
	(2) 自社で準備できない技術が，安価で購入できること	
	(3) 特徴	リスクが表面化した場合の損失額が，一般的な人工衛星と比較して小さい。
	事業戦略	・収益性が高い新たな事業戦略 ・数多く販売する事業戦略
設問3	(1) 第一次産業	
	(2) ・ロケット会社と提携して個別に契約する必要をなくす。 ・目的に合うデータ処理会社を探して仲介する。	